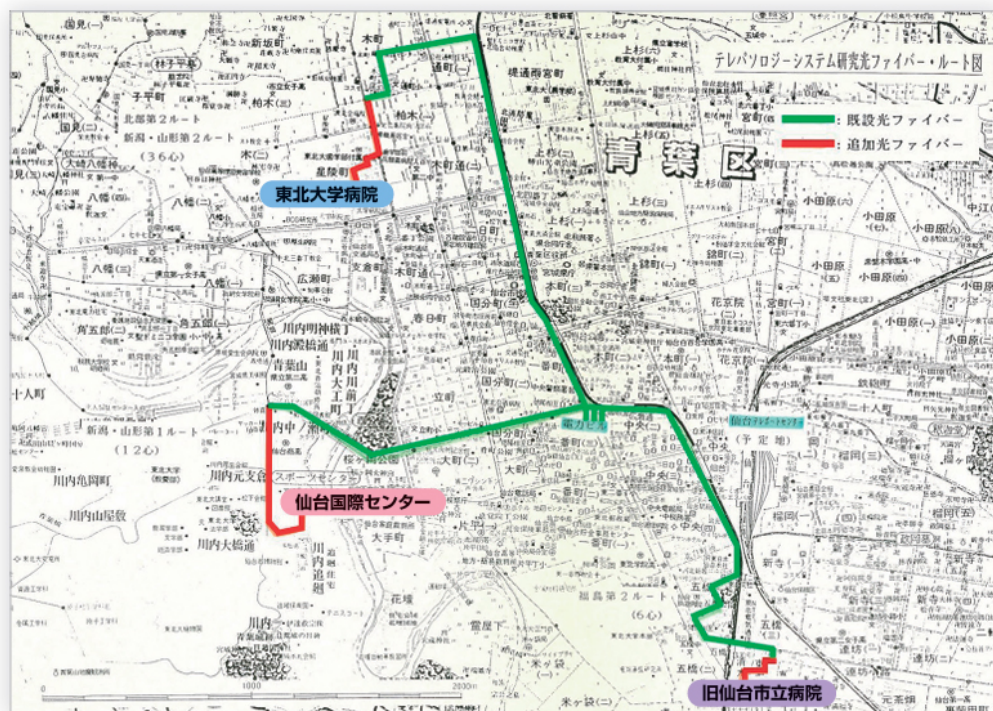


ハイビジョン動画による 遠隔診断デモンストレーション

研究に使用した光ファイバーのネットワークルート



東北大学病院－旧仙台市立病院（五橋）、仙台国際センターを結ぶ 11.3Km の光ファイバーネットワークは東北電力が提供した（既設光ファイバー：8.4Km、新設光ファイバー：2.9Km）

配電線に添架した難着雪形の光ファイバーケーブルの実物展示

（東北電力が開発した自己支持形難着雪光ファイバーケーブル）



■ プレハング吊り形

吊線とケーブル本体を約 50cm 毎にプラスチック結合体（ポリエチレン製ハンガ）で一体化させた構造。ポリエチレン製ハンガにより着雪が筒状に成長するのを阻止できる。また、ケーブル本体に弛みをつけることにより、吊線に張力が印加されても本体には影響がない構造。

■ 紡錘形

吊線とケーブル本体をポリエチレンシースにて一体化させた構造。表面が平滑な構造のため、管路引込の際に抵抗なく敷設することが可能。

■ 自己支持巻付形 (SSS 形) 波形鋼管付

吊線に波形鋼管付のケーブル本体を巻き付けて一体化させた構造。

■ 二重ラッシング形 (SSF 形)

吊線とケーブル本体をバインド線にて一体化させた構造。

■ ノンメタリックプレハング吊り形

FRP（繊維強化プラスチック）製の吊線とケーブル本体を約 50cm 毎にプラスチック結合体（ポリエチレン製ハンガ）で一体化させた構造。金属材料を使用しないことにより無誘導である。

仙台テレパソロジー研究



この実験研究は

「仙台テレパソロジー研究：光ファイバーによるハイビジョン遠隔病理診断の提言」
（株式会社ニューメディア・1994）として出版された。